

1-2 検討の方向性

装備資機材・分団本部施設

課 題	検 討 の 方 向 性
<p>1 予想を超える水災に対する 装備資機材の増強</p>	<p>1 人員、資機材の増強による活動能力の向上 (1) 可搬ポンプ及び可搬ポンプ積載車にGPS機能の導入 (2) 消防団組織力の向上を図るため、消防団募集活動を実施する。</p> <p>2 新たな装備資機材の導入 活動能力及び衛生管理が向上する資機材の導入 ・胴長、排水ポンプ、土のうに代わる浸水防止資機材(折畳式止水プレート等)皮手袋、消防団用救命ボート</p> <p>3 装備資機材の増強について フローティングストレーナー、フロートロープ、強カライト(防水型)の整備</p> <p>4 資機材の改良による活動能力の向上 (1) 手引き可搬ポンプ台車の軽量化 (2) とび口の軽量化と水深計機能付(浸水場所で足元が確認でき、ごみの除去等に活用)機材の整備</p>
<p>2 分団本部施設の機能向上</p>	<p>1 施設の規模 (1) 資機材の増強に対応できるスペースや収納倉庫の確保 (2) 水災時等の参集に伴うソーシャルディスタンスのスペース確保 (3) 浸水があっても資機材に被害のでない収容場所の整備</p> <p>2 施設の機能・設備 (1) 情報収集機器の設置スペースの確保 (2) 女性用トイレの整備</p> <p>3 資機材の整備 (1) 可搬ポンプ積載車配置後の手引きポンプ台車保管場所の整備 (2) 感染防止用の仕切り(アクリル板)や換気用扇風機等の整備</p>